

ご議論いただきたい事項

① 需要家の声の具体化

◆各社のエネルギーレジリエンス取組を定量化・金融商品化した際に、顧客（エネルギー需要家）から最も反響があった項目は何か。またそれはどのような反響か。反響を踏まえて商品や対応を変えている場合、その内容。

② 資金供給の円滑化

◆エネルギーレジリエンス先進企業をとらえるシンプルな指標は何か。

前回の議論で、エネルギーレジリエンスをESGの文脈からも理解できると、より効果的であるとの意見があった。

例えば、エネルギーレジリエンスをSの一環として位置付ける場合に、投資家の理解を得やすいシンプルな定量指標が有効と考えられるが、それはどのようなものか。

同様の成果を求める場合、株式市場以外の融資、保険ではどのような手法があり得るか。

③ 投資家や顧客等への情報発信

◆エネルギーレジリエンスの定量化は、これまで十分に評価されてこなかったエネルギーの安定供給の価値の表出に取り組むものであるが、直感的に伝わりにくい内容であるとの声もある。投資家や顧客等に対し、どう発信することが効果的か。